

令和 8 年度
定時株主総会資料

於：ヒルゼン高原センター 会議室

株式会社グリーンピア蒜山

令和 8 年 度

定 時 株 主 総 会 次 第

日時 令和 8 年 6 月 6 日（土）午前 10 時 30 分
場所 ヒルゼン高原センター 会議室

1. 開 会

2. 社長挨拶

3. 議長選出

4. 会議の目的事項

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書承認の
件（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）

第 2 号議案 剰余金処分案承認の件

第 3 号議案 令和 8 年度事業計画並びに予算案承認の件

第 4 号議案 取締役の選任の件

5.その他

6.閉会

第1号議案 令和7年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書承認の件

令和7年度（第36期）事業報告

令和7年度の日本経済は、物価高、賃上げ、設備投資が景気を支えて、実質 GDP は、おおむね+1%の成長を維持した年でした。しかしながら、ウクライナ戦争の長期化に加えて6月13日から勃発したイラン戦争による原油高や円安による資源価格の高騰により、先行きについては依然として不透明な中で推移しました。

当社におきましては、蒜山高原エリアにおける観光振興と地域資源の活用を使命として観光需要への対応、広域観光との連携の推進、施設の保全、老朽設備の更新、商品開発、地域イベントの開催などを行ってまいりました。

このような外部環境のもと全体の売上高は、令和6年度 629,212 千円から令和7年度 656,977 千円と+27,765 千円(+4.41%)となりました。

施設別に見ますと、**道の駅風の家**は、高原野菜や加工品の販売が好調に推移して、昨年に引き続き野菜部門の売上が過去最高を更新し、令和6年度 292,315 千円から令和7年度 301,742 千円と+9,427 千円(+3.23%)となりました。

三木ヶ原ふるさと特産館は、仕入れ上昇に伴う食事メニューの価格改定により、令和6年度 109,023 千円から令和7年度 112,746 千円と+3,722 千円(+3.41%)となりました。

ひるぜんべアバレースキー場は、営業日数が前年 73 日から 56 日と短くなりましたが、12月27日からの比較的早期のオープンとなったことと、リフト料金の改定により、令和6年度 79,093 千円から令和7年度 88,286 千円と+9,193 千円(+11.62%)となりました。

蒜山ハーブガーデンハービルは、イベントを積極的に開催し、ショップや苗売り場の品ぞろえを充実させたことにより、令和6年度 77,606 千円から令和7年度 79,426 千円と+1,820 千円(+2.34%)となりました。

そばの館は、蒜山産の玄蕎麦が令和6年度 26.4 t から令和7年度 17.6 t と減収がありましたが、食事部門のメニュー価格改定や新メニューの販売により令和6年度 71,173 千円から令和7年度 74,775 千円と+3,601 千円(+5.06%)となりました。

その結果、令和7年度計画 636,100 千円に対し令和7年度実績 656,977 千円と+20,877 千円(+3.28%)となりました。当期純利益におきましては、令和7年度計画 15,532 千円に対し令和7年度実績 21,685 千円と+6,153 千円(+39.61%)となりました。前年度比較におきましては、営業利益においては、+8,278 千円（前年同期-4,420 千円）と+12,698 千円（-287.30%）となり、税引前当期純損益額は+27,046 千円（前年同期+11,240 千円）+15,806 千円（+140.62%）と前年実績を上回る決算となりました。

今後とも真庭市の地域資源を最大限に生かしながら、経済効果が全市に行き渡るように施設管理やサービスの向上、市内事業者との連携強化を推進していきます。

代表者 真田 善弘

(單位：円)

-2-

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

商号 株式会社 グリーンピア蒜山

(単位：円)

科 目		金 額	
I	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	656,977,353 0	656,977,353 0
II	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	278,895,861 0	278,895,861 0
III	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	369,802,762	369,802,762
IV	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	363,813 6,000 400 16,635,957	363,813 6,000 400 16,635,957
V	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	0 0 1 6,189 492,039 50,097	0 0 1 6,189 492,039 50,097
VI	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	2,309,999 0	2,309,999 0
VII	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	0 0	0 0
	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	27,046,573 5,360,591	27,046,573 5,360,591
	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	21,685,982	21,685,982

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販売員給与	134,636,885
販賣員旅費	51,930,662
販賣員宣伝費	2,309,244
販賣員包装費	1,499,519
販賣員運賃	0
販賣員手数料	100,804
販賣員委託料	13,092,422
販賣員報酬	2,392,564
販賣員賞与	454,850
販賣員福利費	700,000
退職共済掛金	0
減価償却費	27,756,635
地代家賃	1,399,802
修繕費	7,226,000
通水光熱費	30,084,854
租税公課	262,857
接待交際費	0
備品消耗品費	8,152,302
会議関係費	302,470
環境衛生費	760,459
貸倒償却費	28,819,889
雑費	25,018,220
合計	369,802,762

棚卸資産の計算内訳

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商製品	16,540,900
半製品	0
原材料	0
仕掛品(半成品)	8,156,977
貯蔵品	0
合計	6,291,271
合計	30,989,148

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 グリーンピア蒜山

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位: 円)

I 株 主 資 本

1. 資 本 金

当期首残高	36,250,000
当期変動額	0
当期末残高	36,250,000

2. 利 益 剰 余 金

(1) 利 益 準 備 金

当期首残高	3,081,250
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	181,250
当期末残高	3,262,500

(2) そ の 他 利 益 剰 余 金

別 途 積 立 金

当期首残高	234,000,000
当期変動額	0
当期末残高	234,000,000

繰 越 利 益 剰 余 金

当期首残高	13,086,407
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	-181,250
剰余金の配当	-1,812,500
当期純利益	21,685,982
当期末残高	32,778,639

そ の 他 利 益 剰 余 金 合 計

当期首残高	247,086,407
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	-181,250
剰余金の配当	-1,812,500
当期純利益	21,685,982
当期末残高	266,778,639

株 主 資 本 合 計

当期首残高	286,417,657
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	0
剰余金の配当	-1,812,500
当期純利益	21,685,982
当期末残高	306,291,139

II 評 価 ・ 換 算 差 額 等

当期首残高	0
当期変動額	0
当期末残高	0

III 新 株 予 約 権

当期首残高	0
当期変動額	0
当期末残高	0

純 資 産 の 部 合 計

当期首残高	286,417,657
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	0
剰余金の配当	-1,812,500
当期純利益	21,685,982
当期末残高	306,291,139

個 別 注 記 表

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、取得価額10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

560,013,605円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

725株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、422,470.53円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、29,911.69円であります。

以 上

貸借対照表

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	R6年度	R7年度	差 額
現金・預金	176,102,449	86,219,656	-89,882,793
売 掛 金	6,807,657	5,997,238	-810,419
棚卸 資産	30,122,549	30,989,148	866,599
未 収 金	734,745	1,552,710	817,965
未収還付法人税	0	0	0
立替金	936,480	912,879	-23,601
仮 払 金	0	0	0
貸倒引当金	-67,000	-61,000	6,000
流動資産計	214,636,880	125,610,631	-89,026,249
建 物	50,311,479	59,202,521	8,891,042
構 築 物	15,825,850	11,988,154	-3,837,696
機械装置	43,956,550	45,693,943	1,737,393
車両運搬具	221,975	12	-221,963
工具器具備品	8,724,401	7,849,883	-874,518
建物付属設備	0	0	0
その他の有形固定資産	943,865	1,489,244	545,379
電話加入権	377,832	377,832	0
土 地	1,773,855	1,773,855	0
預け金	40,000	40,000	0
出 資 金	20,000	20,000	0
投資有価証券	1,750,000	102,277,076	100,527,076
預託金	111,140	111,140	0
固定資産計	124,056,947	230,823,660	106,766,713
開 業 費			
協会加入金			
負担金	1,771,715	1,279,676	-492,039
ソフトウェア			0
繰延資産計	1,771,715	1,279,676	-492,039
資産の部合計	340,465,542	357,713,967	17,248,425
負 債 ・ 資 本 の 部			
買 掛 金	13,830,831	16,320,906	2,490,075
未 払 金	24,907,311	21,038,457	-3,868,854
未払法人税等	182,500	5,304,800	5,122,300
未払消費税等	11,894,100	5,869,300	-6,024,800
預 り 金	3,233,143	2,889,365	-343,778
仮受金	0	0	0
流動負債計	54,047,885	51,422,828	-2,625,057
長期借入金	0	0	0
負債の部合計	54,047,885	51,422,828	-2,625,057
資 本 金	36,250,000	36,250,000	0
別途積立金	234,000,000	234,000,000	0
利益準備金	3,081,250	3,262,500	181,250
繰越利益	13,086,407	32,778,639	19,692,232
当期純損益額			0
純資産の部合計	286,417,657	306,291,139	19,873,482
負債・純資産部の部合計	340,465,542	357,713,967	17,248,425

損 益 比 較 表

(単位 円)

	R6年実績	R7年実績	増減	販売管理費	R6年度実績	R7年度実績	増減
売上高	629,212,882	656,977,353	27,764,471	役員報酬	700,000	700,000	0
			0	給与	128,735,475	134,636,885	5,901,410
売上原価	274,586,460	278,895,861	4,309,401	賃金	50,776,741	51,930,662	1,153,921
			0	法定福利費	26,051,966	27,756,635	1,704,669
売上総利益	354,626,422	378,081,492	23,455,070	福利厚生費	1,198,924	1,399,802	200,878
			0	退職金共済	7,080,000	7,226,000	146,000
販売管理費	359,046,514	369,802,762	10,756,248	接待交際費	565,290	401,316	-163,974
			0	広告宣伝費	1,099,010	1,499,519	400,509
営業利益	-4,420,092	8,278,730	12,698,822	荷造運賃	126,222	100,804	-25,418
受取利息	277,558	363,813	86,255	通信費	706,907	760,459	53,552
貸倒引当金戻入益	0	6,000	6,000	支払手数料	12,077,100	13,092,422	1,015,322
受取配当金	400	400	0	業務委託費	701,800	454,850	-246,950
雑収入	15,916,618	16,635,957	719,339	消耗品費	18,474,866	19,677,927	1,203,061
営業外収益計	16,194,576	17,006,170	811,594	図書教育費	163,302	302,470	139,168
貸倒損失	0	6,189	6,189	旅費交通費	2,084,090	2,309,244	225,154
繰延資産償却	492,039	492,039	0	租税公課	25,344,884	25,018,220	-326,664
雑損失	42,014	50,097	8,083	諸会費	820,560	935,560	115,000
固定資産廃棄損	3	1	-2	減価償却費	29,506,994	30,084,854	577,860
営業外費用計	534,056	548,326	14,270	修繕費	9,388,772	8,152,302	-1,236,470
				損害保険料	466,830	744,210	277,380
経常利益	11,240,428	24,736,574	13,496,146	水道光熱費	30,594,091	28,819,889	-1,774,202
固定資産売却益	0	2,309,999	2,309,999	賃借料	2,392,564	2,392,564	0
特別利益	0	2,309,999	2,309,999	車両関係費	3,953,078	5,150,658	1,197,580
				環境衛生費	3,130,964	3,151,502	20,538
特別損失	0	0	0	リース料	127,690	262,857	135,167
				寄付金	151,000	146,000	-5,000
税引前当期純利益	11,240,428	27,046,573	15,806,145	会議費	17,036	171,098	154,062
				貸倒償却	25,000	0	-25,000
法人税等	225,070	5,360,591	5,135,521	雑費	2,585,358	2,524,053	-61,305
当期純利益	11,015,358	21,685,982	10,670,624	合 計	359,046,514	369,802,762	10,756,248

監査報告書

株式会社グリーンピア蒜山
代表取締役 長尾伸二 殿

私ども監査役は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの第 36 期営業年度の株式会社グリーンピア蒜山の財務並びに業務の執行状況を監査の結果、会計書類、および帳簿は適法かつ正確に整理されており、会計法規に適合した良好な経理が執行されていると認めます。

令和 8 年 6 月 2 日

監査役 伊 藤 敦 哉



監査役 法 華 教 善



令和 7 年度役員名簿

役 職	氏 名
代表取締役	真田善弘（Bブロック選出委員）
取締役	宮永 優（Aブロック選出委員）
取締役	長尾伸二（Cブロック選出委員）
取締役	芦立欽次（Dブロック選出委員）
取締役	長恒 充（蒜山酪農農業協同組合）
監査役	伊藤敦哉（真庭市副市長）
監査役	法華教善（会計経験委員）
※取締役の任期は 2 年 監査役は 4 年となっております。	

第 2 号議案 剰余金処分案承認の件

剰余金の処分案としては、以下のとおりにしたいと存じます。

1. 期末配当金に関する事項

当社は、株主の皆様に対し、安定的かつ適正に利益を還元することを基本方針としております。各施設とも好調に推移して、燃料及び原材料の高騰による収益低下の影響はございますが、当期の期末配当につきましては、次のとおりといたしたいと存じます。

利益処分案

① 株主に対する配当の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式 1 株 50,000 円につき 2,500 円としたいと存じます。
なお、配当総額 1,812,500 円となります。

② 剰余金の効力が生じる日 令和 8 年 6 月 6 日

2. その他の配当金と剰余金の項目とその金額

期首繰越利益剰余金	13,086,407 円
別途積立金	0 円
配当金	-1,812,500 円
利益準備金	-181,250 円
令和 7 年度純利益	21,685,982 円
期末繰越利益剰余金	32,778,639 円

以上

第 3 号議案 令和 8 年度事業計画並びに予算案承認の件 基本的経営方針

◆三木ケ原ふるさと特産館 ウッドパオ

入館者数の推移は、6 年度 42,304 人から 7 年度 41,822 人-482 人（-1.13%）となりました。シーズン前半は梅雨らしくない晴天が続いたことにより多くの来客者がありました。特に 7 月は例年の 5 割増しの売上となりましたが、繁忙期の秋のシーズンは、週末と祝日の天候不良による来客者の減少で、前年まで続いていた売上げの増加とはなりませんでしたが、レストランメニューなどの値上げによる若干の増収となりました。

今年度も来館された方への感謝と関心を持ち、親切、親身を基本としてお客様から感じた事を、より良い接客に活かしていきます。部門別では、レストランカフェ部門は過去最高額を超えましたが、ショップ部門は 6 年度売上 23,236 千円から 7 年度売上 21,864 千円と-1,371 千円（-5.90%）となりました。

レンタサイクル部門

蒜山の自然を安全に楽しんで頂くため、故障などのトラブルが起きないように、こまめな点検整備を心がけていきます。大人普通自転車 9 台、子供普通自転車 5 台、子供マウンテンバイク 5 台、大人電動自転車 12 台、電動二人乗り 3 台、タンデム（二人乗り自転車）2 台、ロードバイク 5 台で 41 台体制となり、自転車専門整備士による点検証明の TS マークの取得や貸自転車専用の賠償責任保険（賠償額 1 億円）に加入して営業していきます。

レストラン部門

近年のラム肉その他の食材費高騰対策として若干の値上げをしながらも、お求めやすい価格の維持、さらに店内処理による新鮮で上質なラム肉を多くのお客様に提供をしていきます。野外席では蒜山の美しい景色を楽しんで頂き、屋内席では蒜山で珍しい全テーブル無煙ロースターによる煙の少ない快適空間での心地良い食の時間を過ごして頂けるようにしていきます。

カフェ部門

ソフトクリーム・ジェラート部門では過去最高売上であった令和 7 年度をさらに更新できるよう今までの販売データやスタッフのアイデアを活かしながら魅力ある新メニューや季節ごとのフレーバーの提供をしていきます。

ショップ部門

近年継続して取り組んでいる主なテーマである「持ち帰り用の肉類の売上増」の為にレストランで提供しているラム肉や珍しい部位・ジビエの販売及びハーブソルトやタレ、調味料等をレストランでの試食としてジンギスカン料理とともに味わって頂くことで、商品に興味を持ってもらい販売につなげていきます。

◆道の駅「風の家」

入館者の推移は、6年度137,639人から7年度138,541人と+902人（+0.65%）となりました。年々物価高騰が続くなか、蒜山の野菜を買い求めに来るお客様が年々多くなり、ゴールデンウィーク・お盆・紅葉シーズンは例年以上の集客がありました。

3月1日から、出雲発、風の家経由、大阪行き往復定期運行バスが再開され蒜山に来られるお客様が増えました。マリオットホテル内の売店の運営などの相互協力を引き続きおこないます。ホームページ・インスタグラム、Xなどで野菜の出荷情報・お土産物の入荷情報やイベント情報を発信していきます。真庭市北玄関の施設としてお客様の受け入れ態勢を整えて魅力のあるお店作りをして、市内及び周辺施設のインフォメーションの役割を果たしていきます。

ショップ部門

6年度売上173,891千円から7年度売上178,701千円と+4,809千円（+2.77%）となりました。販売価格の高騰が収まらないのが懸念されますが、商品の構成の見直しポップの作成、陳列を変えたりするなど工夫をして売上アップを目指します。蒜山の名産の牛乳・ヨーグルトなどの乳製品・ジャージー肉・蒜山蕎麦・地元食材を使った魅力のある商品の販売、真庭市の商品及び岡山県内の6次化商品を販売していきます。

野菜部門

6年度75,122千円から7年度売上76,731千円と+1,609千円（+2.14%）となりました。野菜価格の高騰により、昨年に引き続き最高売上を更新しました。特に夏から秋にかけて「大根、とうもろこし、キャベツ、ぶどう」を買い求めに来られるお客様が多くなりました。お客様に野菜の調理の仕方や苗の育てかたが説明できるようにスタッフ全員スキルアップして、お客様に対応していきます。生産者組合と協力しながら新鮮で安心・安全な野菜を提供して、より多くのお客様に利用して頂ける直売所にしています。

また、手狭になってきた野菜販売施設ですが、屋根部の錆や壁の老朽化また、野生の動物の侵入を防ぐために、建替えの検討を進めていきます。

軽食部門

6年度売上24,346千円から7年度売上24,366千円と+20千円（+0.08%）となりました。原材料高騰のためメニュー価格を見直す時期がきています。値上げをして利用されるお客様が減らないよう工夫して美味しい物を提供できるお店にして売上アップをしています。現行のメニューの盛り付けやラーメンスープの味の味の見直し、野菜売り場から地元野菜を使い新しいメニューの提供が出来るようにしていきます。スタッフ全員が向上心をもって新しいことに取り組んでいきます。

◆味覚工房 そばの館

来店者は、6年度 51,481 人から7年度 53,682 人と+2,201 人（+4.27%）となりました。全体としては、6年度 71,173 千円から7年度 74,775 千円となり+3,602 千円（+5.06%）となりました。近年のペット同伴での来客用に、屋外席をより利用しやすいようにします。ペットご飯を併せて限定販売していきます。原材料の高騰が続いているので一部のメニュー、商品について価格改定をしていきます。期間限定メニューを提案してシーズンごとに飽きの来ないメニュー構成と基本の「挽きたて、打ちたて、ゆでたて」を守り親切丁寧な接客サービスと、いつ来ても美味しいと言われる蕎麦店を目指していきます。

■ひるぜん蕎麦振興部門

ひるぜん蕎麦生産組合では、作付け面積の減少と播種後の降雨被害の影響により、蒜山そばの生産量が6年 26.3 t から7年は 17.8 t と減収となりました。玄蕎麦販売につきましては、早々に完売いたしました。蒜山産そばの需要については好調なため、今後も新規の作付けを募集するように取組みます。農業政策の変更により転作田の水張問題が肥料散布でも交付金対象として認められるようになったため、生産者に周知をして漏れの無いように事務処理を進めていきます。

◆蒜山ハーブガーデンハービル

入場者数は、6年度 48,271 人から7年度 46,092 人と-2,179 人（-4.51%）となり、売上は6年度 77,606 千円から7年度 79,426 千円と+1,819 千円（+2.34%）となりました。

今年度、ハービル開園以来の、入園料の値上げを実施いたします。

（大人 300 円⇒400 円、中高生 200 円⇒300 円、障害者 100 円⇒200 円）

また、6年度 3,423 枚、出ていた年間パスポートは値上げの影響（500 円⇒1,000 円）により7年度 1,609 枚と半減いたしました。今年度は、一般販売チケットの値上がりもあり年間パスポートの付加価値も上がるのではと予想しております。リピーターの方はもちろん初めてのお客様にも満足していただけるサービスや空間の提供をしていきます。イベントやSNSを有効に活用し、積極的なPRと営業をしていきます。

ガーデン内の一部を歩きやすいように整備します。

カフェ部門

喫茶メニューの追加として、個包装のスイーツなどの気軽に手に取っていただける商品の販売をおこないます。また、食事、喫茶とも季節感を出し、お客様がより満足していただけるようなカフェメニューとサービスを提供します。

ショップ・工房部門

定番商品ではありますが改めてアロマ関連の商品に力を入れ、同時にスタッフの知識向上をはかります。その他、新商品の展開や店舗ディスプレイについても定期的に変えてみ

るなど工夫を積極的におこないながら売り上げアップを目指します。

工房では、予約不要で、いつ来園されてもクラフト体験ができるというハービルの強みを生かして案内と PR の仕方を工夫して利用人員アップを目指します。

また、新たな体験メニューとして、お客様がご自身でブレンドして作る「オリジナルハーブティー作り体験」にチャレンジして、売り上げアップを目指します。

香りのグッズや菓子類、ハーブティーやインテリア雑貨まで幅広い商品展開をします。

ガーデニング苗部門

お客様のニーズを把握し、需要に応じた商品の仕入れを行い、在庫管理（過剰在庫をしないなど）も含めた効率の良い販売をしていきます。

また、陳列やラッピングなどの付加価値を加え、販売促進をしていきます。

上記の取り組みなどにより、費用を抑えつつ昨年を上回る売り上げを目指します

ひるぜんベアバレースキー場

令和7年度は、営業開始日の12月27日から営業を開始し、3月1日までの56日間（中断9日）の営業日数となりました。売上は6年度 79,093 千円から7年度 88,286 千円と +9,193 千円増（+11.62%）となりました。

今年度の計画としては安定的なグレンデ整備体制の構築のため、新たな圧雪車の購入、自動改札機のソフトシステムの更新、第1リフトの8.9号柱修繕、傾斜修正、戸の修理、スノーマットの設置を計画しています。スキースノーボード用品店との連携をして、リフト券の販売や集客イベントを積極的に実施していきます。

リフト、グレンデ部門

安全運航を第一目標に掲げて、リフトの保守管理、従事員の教育をしっかりと行い事故の無いようにしていきます。開業以来の無事故を継続するため、索道メーカーによる索道施設の年次点検をしていきます。市内の宿泊施設との連携で色々な宿泊プランを企画していきます。地域雇用対策として市内事業者からの人材派遣をお願いして人材の相互連携をしていきます。

レストラン部門

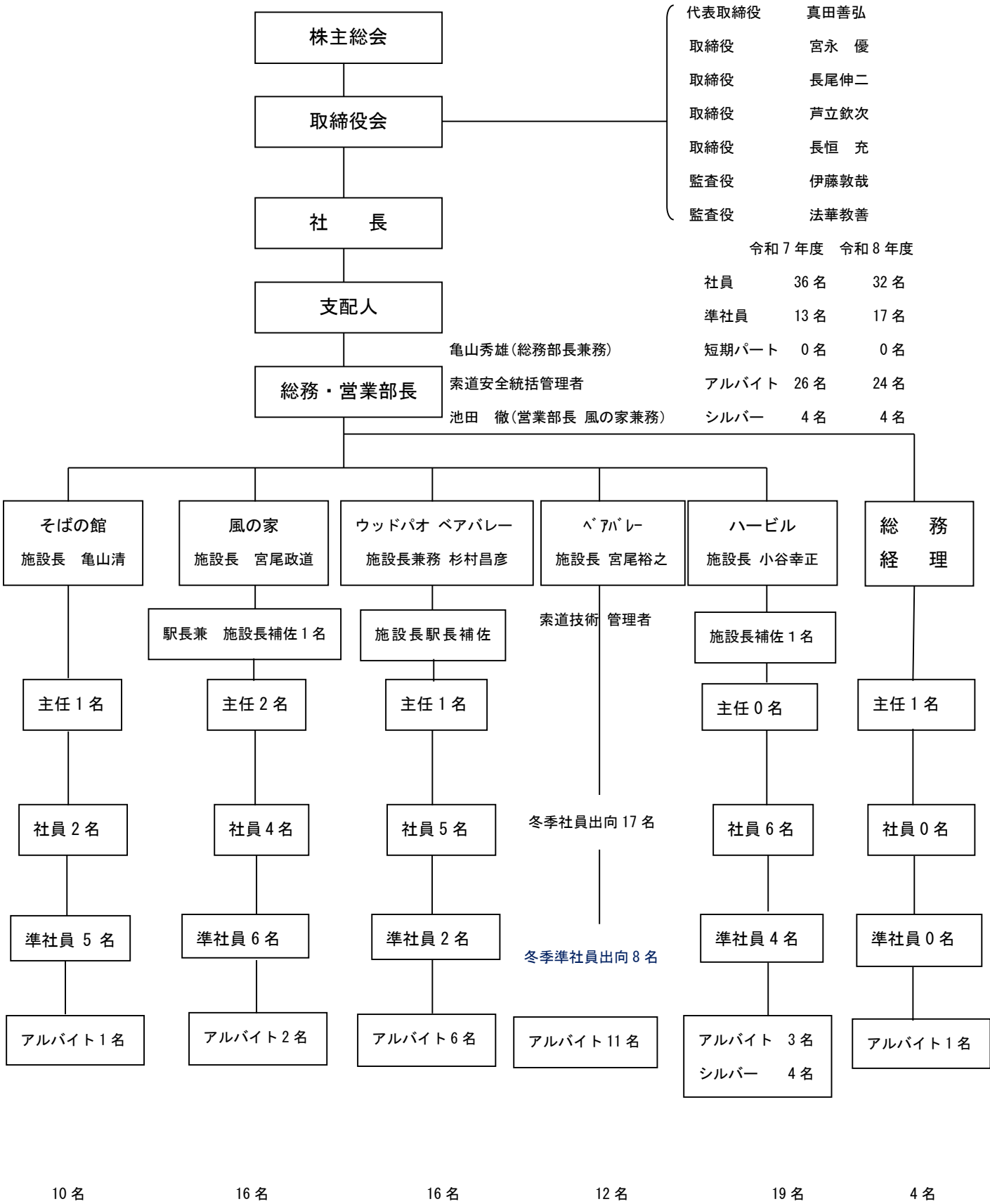
原材料や資材の高騰はありますが、お客様に利用しやすい価格で引続き提供していきます。新たなメニューを考案して、満足度を上げていきます。ショップでの手作り弁当やテイクアウト商品を販売していきます。ベアーズキャビン内での販売もおこないます。

その他

引き続き地域の皆様に信頼される会社となれるよう、全力で事業計画を達成して活性化に努めていきます。また、地域の事業者様と連携をすることで事業効果が真庭市全域に波及するような活動を推進していきます。

株式会社グリーンピア蒜山組織図

GREENPIA HIRUZEN CO., LTD.



第3号議案 令和8年度事業計画並びに予算（案）承認の件

令和8年度事業計画案

（単位 千円）

科目	R6年実績	R7年実績	達成率	R8年計画	R7年実績差	比率
PAO 食事	71,130	75,372	106.0%	74,000	-1,372	98.2%
酒	4,050	4,148	102.4%	4,000	-148	96.4%
喫茶	1,824	1,653	90.6%	1,700	47	102.8%
売店	23,236	21,864	94.1%	23,000	1,136	105.2%
ソフト	7,570	8,072	106.6%	8,000	-72	99.1%
自転車	1,212	1,635	134.9%	2,000	365	122.3%
加入金						
計	109,023	112,746	103.4%	112,700	-46	100.0%
風の家 食事	24,346	24,366	100.1%	24,500	134	100.5%
喫茶			0.0%			0.0%
売店	173,891	178,693	102.8%	180,000	1,307	100.7%
ソフト	18,955	21,943	115.8%	22,000	57	100.3%
野菜	75,122	76,731	102.1%	77,000	269	100.4%
計	292,315	301,734	103.2%	303,500	1,766	100.6%
そば 食事	58,723	65,293	111.2%	66,000	707	101.1%
酒	547	533	0.0%	600	67	112.6%
喫茶	25	79	0.0%	100	21	126.6%
売店	11,877	8,868	74.7%	13,000	4,132	146.6%
計	71,173	74,775	105.1%	79,700	4,925	106.6%
ハーブ 食事	14,920	12,955	86.8%	14,800	1,845	114.2%
酒	138	167	121.0%	200	33	119.8%
喫茶	10,173	9,845	96.8%	13,200	3,355	134.1%
売店	16,807	16,560	98.5%	18,000	1,440	108.7%
ソフト	3,705	3,607	97.4%	3,800	193	105.4%
苗	19,236	22,533	117.1%	25,000	2,467	110.9%
入場	12,624	13,756	109.0%	14,000	244	101.8%
計	77,606	79,426	102.3%	89,000	9,574	112.1%
スキー 食事	10,752	10,552	98.1%	11,000	448	104.2%
酒	286	287	100.3%	300	13	104.5%
喫茶	394	447	113.5%	500	53	111.9%
売店	3,565	3,205	89.9%	3,500	295	109.2%
ソフト	0	0	0.0%	0	0	0.0%
リフト入場	64,093	73,793	115.1%	70,000	-3,793	94.9%
計	79,093	88,286	111.6%	85,300	-2,986	96.6%
全社 食事	179,873	188,541	104.8%	190,300	1,759	100.9%
酒	5,022	5,136	102.3%	5,100	-36	99.3%
喫茶	12,418	12,026	96.8%	15,500	3,474	128.9%
売店	229,377	229,192	99.9%	237,500	8,308	103.6%
ソフト	30,231	33,622	111.2%	33,800	178	100.5%
野菜・苗	94,359	99,265	105.2%	102,000	2,735	102.8%
入場・リフト	77,930	89,185	114.4%	86,000	-3,185	96.4%
総合計	629,212	656,969	104.4%	670,200	13,231	102.0%

※1000円未満の端数は切り捨て表示しております。

損 益 計 画 書

(単位 円)

	R7年実績	R8年計画	増減	販売管理費	R7年度実績	R8年計画	増減
売上高	656,977,353	670,200,000	13,222,647	役員報酬	700,000	700,000	0
			0	給与	134,636,885	134,000,000	-636,885
売上原価	278,895,861	287,721,000	8,825,139	賃金	51,930,662	54,000,000	2,069,338
			0	法定福利費	27,756,635	27,800,000	43,365
売上総利益	378,081,492	382,479,000	4,397,508	福利厚生費	1,399,802	1,460,000	60,198
			0	退職金共済	7,226,000	7,400,000	174,000
販売管理費	369,802,762	376,282,564	6,479,802	接待交際費	401,316	400,000	-1,316
			0	広告宣伝費	1,499,519	1,500,000	481
営業利益	8,278,730	6,196,436	-2,082,294	荷造運賃	100,804	100,000	-804
受取利息	363,813	2,650,000	2,286,187	通信費	760,459	720,000	-40,459
貸倒引当金戻入益	6,000	0	-6,000	支払手数料	13,092,422	13,000,000	-92,422
受取配当金	400	400	0	業務委託費	454,850	1,000,000	545,150
雑収入	16,635,957	11,000,000	-5,635,957	消耗品費	19,677,927	21,000,000	1,322,073
営業外収益計	17,006,170	13,650,400	-3,355,770	図書教育費	302,470	300,000	-2,470
貸倒損失	6,189	0		旅費交通費	2,309,244	2,700,000	390,756
繰延資産償却	492,039	492,039	0	租税公課	25,018,220	25,000,000	-18,220
雑損失	50,097	10,000	-40,097	諸会費	935,560	940,000	4,440
固定資産廃棄損	1	0	-1	減価償却費	30,084,854	32,500,000	2,415,146
営業外費用計	548,326	502,039	-46,287	修繕費	8,152,302	7,000,000	-1,152,302
				損害保険料	744,210	750,000	5,790
経常利益	24,736,574	19,344,797	-5,391,777	水道光熱費	28,819,889	29,500,000	680,111
固定資産売却益	2,309,999	0		賃借料	2,392,564	2,392,564	0
前期損益修正益				車両関係費	5,150,658	5,500,000	349,342
特別利益	2,309,999	0	-2,309,999	環境衛生費	3,151,502	3,500,000	348,498
固定資産売却損				リース料	262,857	300,000	37,143
前期損益修正損				寄付金	146,000	150,000	4,000
特別損失	0	0	0	会議費	171,098	170,000	-1,098
				貸倒償却	0	0	0
法人税等	5,360,591	5,223,000	-137,591	雑費	2,524,053	2,500,000	-24,053
合 計	21,685,982	14,121,797	-7,564,185	合 計	369,802,762	376,282,564	6,479,802

第 4 号議案 取締役選任の件

取締役退任につき、取締役の選任をお願いしたいと存じます。

令和 7 年度 株式会社グリーンピア蒜山 役員名簿

役 職	氏 名	所 属
代表取締役	真田善弘	(B 地区選出委員)
取締役	宮永 優	(A 地区選出委員)
取締役	長尾伸二	(C 地区選出委員)
取締役	芦立欽次	(D 地区選出委員)
取締役	長恒 充	(蒜山酪農農業協同組合)
監査役	伊藤敦哉	(真庭市副市長)
監査役	法華教善	(会計経験委員)

令和 8 年度株式会社グリーンピア蒜山 役員名簿 (案)

役 職	氏 名	所 属
代表取締役	長尾伸二	(C 地区選出委員)
取締役	宮永 優	(A 地区選出委員)
取締役	清水義文	(B 地区選出委員)
取締役	芦立欽次	(D 地区選出委員)
取締役	長恒 充	(蒜山酪農農業協同組合)
監査役	伊藤敦哉	(真庭市副市長)
監査役	法華教善	(会計経験委員)

令和8年6月6日

株式会社グリーンピア蒜山株主名簿

株主名	代表ブロック	代表者名	株数
真庭市	行政	太田 昇	480 株
蒜山酪農農業協同組合	企業	長恒 充	20 株
大森部落	Aブロック	蔵富弘志	7 株
茅部野東部落	Aブロック	萩原雅志	5 株
栗住部落	Aブロック	石賀茂夫	10 株
黒岩部落	Aブロック	宮永 優	7 株
間谷部落	Aブロック	亀山恵治	7 株
笠木部落	Aブロック	池田高吉	6 株
茅部野西部落	Aブロック	砂村 敏	7 株
茅部部落	Aブロック	西田演男	9 株
大蛇・社田部落	Bブロック	戸田英正	11 株
田部・下郷原部落	Bブロック	清水義文	9 株
郷原下部落	Bブロック	池田 昇	9 株
郷原上部落	Bブロック	長尾昭二	8 株
南田部落	Bブロック	浅原一夫	5 株
熊谷部落	Bブロック	長尾憲司	5 株
白髪部落	Cブロック	筒井一行	6 株
山根田部落	Cブロック	長尾 覚	4 株
天王部落	Cブロック	長尾伸二	6 株
延助上部落	Cブロック	福富昭吾	8 株
延助下部落	Cブロック	延本貞明	7 株
中原部落	Cブロック	中村 完	7 株
宗利部落	Cブロック	多久間都男	6 株
徳山部落	Cブロック	久保田宗夫	12 株
苗代部落	Cブロック	大江佑介	7 株
正富部落	Dブロック	正富 靖	8 株
鍛冶屋部落	Dブロック	葛尾俊昭	21 株
小原部落	Dブロック	下平直勲	6 株
堂の前部落・堂の上部落	Dブロック	三船泉宏	12 株
湯船・上湯船・第2湯船部落	Dブロック	芦立欽次	10 株
合計	1株券面 50,000 円		725 株